

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

「学校と選管が連携した主権者教育」

～ 宗像市立日の里西小学校6年生（模擬選挙）～

1月16日（水）宗像市立日の里西小学校6年生の授業で、模擬選挙が行われました。この授業は、宗像市選挙管理委員会と学校が連携して行っている取組です。

はじめに、宗像市の選管から選挙についての説明がありました。「選挙は税金の使い道を決めるとても大切なこと」という話に子どもたちは真剣に耳を傾けていました。また、選挙に関する〇×クイズもあり、子どもたちが楽しみながら選挙について学ぶ様子が見られました。



模擬選挙では、候補者たちが立会演説を行いました。「日の里西市長選」に立候補した教員3人が、それぞれの公約を述べ、有権者である子どもたちに演説を行います。「運動場をドームにします！」「給食をバイキングにします！」「全員にタブレットを支給します！」という、とても魅力的な公約が並びましたが、子どもたちから、「財源は？」「バイキング給食の栄養のバランスは？」など、現実的な質問があり、自分たちの税金の使い道や公約について、しっかりと考え、投票しようという思いが伝わってきました。



投票は、実際の記載台・投票箱を使って行われ、即時開票となります。当選者が発表されると、自然と歓声があがっていました。

最後のまとめでは、選管の方から改めて投票所へ行くことの大切さが語られました。子どもたちからは、「楽しみながら選挙について学ぶことができました。」、「どうして投票に行かないといけないかがわかりました。」という感想があり、模擬選挙を通して、1票の重みや投票することの大切さに気付くことができました。